

<企業間連携>

報道関係者各位



革靴をはいた猫

紳士靴ブランド「三陽山長」

**不用な革靴を募り、障がいのある若者への靴磨き・靴修理職人育成を支援する
「三陽山長をはいた猫」プロジェクト**
履かなくなった「三陽山長」の革靴を 2/1(木)～2/29(木)の期間回収

三陽商会が企画・販売する紳士靴ブランド「三陽山長」は、障がいのある若者を靴磨き・靴修理職人として育成する株式会社革靴をはいた猫(以下、「革靴をはいた猫」と)と2022年に提携。靴のライフサイクルを広げながら、障がいのある若者が一流の職人としての経験を積む機会を増やすという2つの課題解決を目指す「三陽山長をはいた猫」プロジェクト(通称「山猫プロジェクト」)を運営しています。この度「三陽山長」は2月1日(木)～2月29日(木)の1ヶ月間、「三陽山長」の直営5店舗において、お客さまへ履かなくなった「三陽山長」の革靴の寄付を募集いたします。寄付により集まった革靴は、「革靴をはいた猫」の靴磨き・靴修理職人がメンテナンスを施し、「三陽山長」認定中古靴として販売する予定です。革靴の寄付の募集は今回で2回目になります。

認定中古靴の販売については、同プロジェクトのパートナー企業であるFree Standard株式会社と提携し、同社の流通ソリューション「リテラー」の「リユース機能」によって、販売サイトの構築・運営をはじめ、店舗での寄付内容、「革靴をはいた猫」での修理内容、発送等のロジスティクスまでを含めて管理され運営していきます。

今後も本プロジェクトの継続・発展を図り、履かなくなった靴を新たなお客さまに受け継いでいく仕組みを推進してまいります。



自立して現在働いている
(株)革靴をはいた猫の職人



【修理前】

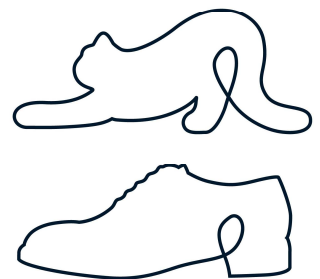
【修理後】

「革靴をはいた猫」の職人による修理例

■ 背景と経緯

「三陽山長」は日本の高い技術力を活かし、長く受け継がれる革靴をつくり販売しています。多くのお客さまに手入れをしながら長年ご愛用いただき、年齢や生活スタイルの変化によって「履く機会がなくなった」というお客さまや、愛着ある履かなくなった革靴を処分せずに保管している、というお客さまもいるという現状もありました。

また、障がいのある若者たちを靴磨き・靴修理職人に育成している「革靴をはいた猫」においては、職人になるための修練には様々な形状・素材・色・状態の革靴を数多く手入れする経験が欠かせないものの、より高い技術が求められる高級な革靴を磨く機会は限られてしまうという課題がありました。そこで両社は2022年に「三陽山長をはいた猫」プロジェクトを立ち上げ運営しています。2022年12月に「三陽山長」の革靴の寄付を募集した結果、約1ヶ月半で18足の革靴を寄付いただき、12足を「三陽山長」認定中古靴として販売するに至りました。購入いただいたお客さまからは、「上質な靴を買いやすい価格で購入することができる」と喜びの声もいただいています。

**山猫
PROJECT**


「山猫プロジェクト」

猫と靴をイメージしたキービジュアル

■「三陽山長」革靴募集 概要

「三陽山長をはいた猫」プロジェクト ～ 履かなくなった「三陽山長」の革靴を募集 ～

募集期間：2024年2月1日（木）～2月29日（木）の1ヶ月間

実施概要/目的：お客さまへ履かなくなった「三陽山長」の革靴の寄付を募り、集まった革靴を(株)革靴をはいた猫へ靴磨き・靴修理の修練用として提供します。

修理・メンテナンス後の靴は、状態が良好なものだけを認定中古靴(※1)として「三陽山長公式リユースストア」(<https://yamanecko-sanyoyamacho.com/>)にて販売。新たなお客さまに受け継がれていく仕組みの推進を図ります。革靴を長く履き続けられるようにするとともに、「革靴をはいた猫」の靴磨き・靴修理職人が経験を積む機会になることも目的としています。認定中古靴の売上の多くを障がいある若者の靴磨き・靴修理職人育成に運用します。

実施店舗：「三陽山長」直営5店舗

東京……日本橋高島屋S.C.店、東京ミッドタウン八重洲店、東京ミッドタウン日比谷店、玉川高島屋S・C店
名古屋……ミッドランドスクエア店

対象製品：「三陽山長」グッドイヤーウェルト製法(※2)の革靴（サンダル、スニーカー除く）

寄付特典：「三陽山長」直営店での商品購入に使用可能な1万円クーポン券を贈呈

回収目標：100足

※1) 認定中古靴：

- ・本プロジェクトで寄付いただく「三陽山長」のグッドイヤーウェルト製法の革靴が対象
- ・手入れをすれば3年以上は履き続けられると判断したもの
- ・状態に応じて、磨きだけでなくソールの張り替え等の修理も施します
- ・靴紐、インソールは新しいものに交換
- ・インソールには本プロジェクト限定のオリジナルロゴの刻印を施します（右の画像）



インソールに施す本プロジェクトオリジナルの刻印

※2) グッドイヤーウェルト製法：靴の中底にアッパーを吊り込み、ウェルトと呼ばれる棒状の革を巻きつけながら縫い付け、最後にウェルトとアウトソールを縫い付ける製法。

■(株)革靴をはいた猫 について

(株)革靴をはいた猫の代表である魚見氏の大学生時代、学内に障がいある若者と学生が共に働くカフェでの活動において、“障がいの有無に関わらず人に喜びを与えられる仕事を通して、誰もが成長して自立できること”を目的に靴磨き事業を始め、大学卒業と同時に起業。当初はホテルや企業に出張して靴磨きをしていたが、現在は京都市役所のそばに位置する路面店と大丸京都店に出店し、カフェ時代からのメンバー含め育成した4人の職人とともに年間5000足の靴磨きや靴修理を行なっている。更なる靴職人の育成には様々な形態、状態の革靴を磨く経験が必要のため、2021年から修練用に履かなくなった靴を寄付してもらう「手放す貢献プロジェクト」を大丸京都店の協力を得て実施し、現在も継続中。

株式会社革靴をはいた猫

本社所在地：京都府京都市中京区亀屋町 370-1

サンルミ御池1階

代表取締役：魚見 航大（うおみ・こうた）

設立：2017年3月15日

「革靴をはいた猫」公式WEBサイト：<https://kawaneko39.com/>



革靴をはいた猫 御池店

■ Free Standard (株) について

消費財の一次生産者であるメーカー・ブランドが自社 EC サイト上に『リユース』『お試し』の機能を実装して独自の二次流通市場を構築できる流通ソリューション「Retailor (リテラー)」を開発・提供しています。今回プロジェクトをサポートする『リユース機能』とは、ブランド独自のリユースサイトを構築し、必要に応じて商品収集・真贋確認・商品メンテナンス・保管・撮影・登録といった機能をセミカスタマイズで提供するサービスです。

「リテラー」サービスサイト : <https://freestandard.co.jp/retailor>

Free Standard 株式会社

所在地：東京都世田谷区用賀 4-28-11

設立：2020年8月7日

代表者：代表取締役社長 張本 貴雄（はりもと・たかお）

公式 WEB サイト : <https://freestandard.co.jp/>



流通ソリューション「リテラー」イメージ

■ 三陽山長 (さんようやまちょう) について

「品質本位」を信条に世界最良の素材を駆使し、熟練の職人による質の高い製品を提案する日本発高級紳士靴ブランド。

対象：メンズ

主な価格帯：靴（既製品） ¥22,000～¥176,000、靴（パターンオーダー）

¥113,300～、ベルト ¥16,500～33,000、シューケア ¥440～¥49,500

販路：直営店、百貨店、ファッションビル、EC

ブランド開始：2001年



三陽山長

■「三陽山長」ブランド公式サイト&ストア <https://store.sanyo-shokai.co.jp/pages/sanyoyamacho>

■「三陽山長」公式 SNS アカウント

Instagram : <https://www.instagram.com/sanyoyamacho/>

X : https://twitter.com/SANYOYAMACHO_PR

Facebook : <https://www.facebook.com/sanyoyamacho>

YouTube : <https://www.youtube.com/user/sanyoyamacho/featured>

■三陽山長公式リユースストア <https://yamaneko-sanyoyamacho.com/>

■ 関連プレスリリース

- ・2022年12月8日配信： 不用な革靴を募り、障がいある若者への靴磨き・靴修理職人育成を支援。
「三陽山長をはいた猫」プロジェクトをスタート
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000559.000009154.html>
- ・2023年8月3日配信： 寄付により集まった革靴を修理し、認定中古靴として8/17(木)より販売
<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000594.000009154.html>

<この件に関する消費者からのお問い合わせ先>
株式会社三陽商会 カスタマーサポート：0120-340-460 受付時間：11：00-17：00（平日のみ）